

## 第7回山県市立小学校及び中学校適正規模検討委員会議事録(要旨)

開催年月日 平成19年7月7日(土)

開催場所 山県市役所3階303会議室

山県市立小学校及び中学校適正規模検討委員会出席者

学識経験者(1名) 岐阜大学教育学部副学部長 小井土由光

市議会議員(1名)

市自治会連合会役員(4名)

市PTA連合会役員(3名)

市立保育園保護者会役員(2名)

市立小中学校長会役員代表(3名)

山県市立小学校及び中学校適正規模検討委員会欠席者

市立保育園保護者会役員(1名)

山県市立小学校及び中学校適正規模検討委員会事務局出席者

市教育委員会教育長 森田 正男

事務局長 恩田 健

学校教育課長 高橋 忠明

学校教育課課長補佐 梅田 義孝

学校教育課課長補佐 鬼頭 立城

学校教育課主査 山田 昌宏

### 日程

- 1 開会
- 2 検討委員会委員の紹介
- 3 委員長挨拶
- 4 日程等説明
- 5 前回会議録の確認
- 6 審議  
伊自良中学校PTA要望書の回答について  
答申に向けての審議
- 7 次回委員会開催予定
- 8 閉会

1. 開会（司会進行：事務局長）

午後2時開会

2. 検討委員会委員への紹介（新任・再任）

事務局

- ・委員の紹介について、名簿を配布しています。

3. 委員長挨拶

委員長

- ・いよいよ、大詰めに来たという印象。
- ・今日、最終答申にあたる原案を提示させて頂いて審議する段階となり、十分審議をして頂き、よりよいものにして頂きたい。

4. 日程等の説明

事務局

- ・本日の審議は、2点あります。  
伊自良中学校PTA要望書について  
答申に向けての審議

5. 前回会議録の確認

事務局

要点説明

- ・伊自良北小学校からの要望の回答について説明。
- ・最終答申について、中間報告で結論は出ているが、若干の修正を行う。

6. 審議（進行 小井土委員長）

委員長

- ・伊自良中学校PTA要望書の回答（案）について

要望内容

市民公聴会的な説明、及びPTA会員との意見交換会の機会を設けて頂きたい。

（回答案）適正規模に関する市民の意見を聞く場としては、これまで2回の公聴会で目的は達せられたと考えています。

今後の協議日程を見直してでも、十分な時間をかけて更に慎重な協議をして頂きたい。

（回答案）第6回の適正規模検討委員会で計画通り十分議論して頂きました。当検討委員会としましては、当初の予定通り期間を決めて結論を出して行きたいと考えます。

事務局

- ・（資料-3）回答書案です。
- ・6月18日に伊自良中学校PTA会長さんから要望書を出されている。
- ・中学校の保護者にアンケートを取られ、検討委員会と教育委員会に要望書が出された。

委員長

- ・前回、伊自良北小学校PTAから似た質問を頂き、回答をみなさんに審議して頂いた。
- ・今回は、中学校から要望を頂いた。小学校と中身は少し違うと思うが、前回も中間答申の内容については、補足が必要と感じている。

- ・ 表現は変えていると思うが、内容としては小学校と変わらないと思う。
- ・ 前回もこの様に回答したと思う。
- ・ みなさんどうか。

委員

- ・ 意見としては前回も議論をさせて頂いたので、これでよいと思う。

委員長

- ・ 前回の小学校と変わっていないと思うので、この回答で御了解をして頂きたい。
- ・ 他によいか。

委員

- ・ 2回の公聴会では不十分。多ければ良いとは思わないが、審議に時間をもっとかけた方がよい。

委員長

- ・ 何回でいいとかはわかりません。
- ・ 住民も含めて色々な意見があることはわかっていますが、教育的な立場から子供さんの事を考えるとどうなのかを決めたい。
- ・ 当然、反対意見もあると思う。
- ・ 伊自良中学校からの要望につきましては、色々な意見がでましたが、実際の趣旨の議論をした結果原案の通り、回答してよいか。

委員

- ・ はい、良いです。

委員長

- ・ 最終答申に向けての審議について
- ・ 事務局に説明を求める。

事務局

- ・ 適正規模検討委員会の答申（案）についての説明。

委員長

- ・ 最終答申ということで、全文読んで頂き、ご意見を頂きたい。
- ・ 順番に議論します。

## 山県市立小学校及び中学校の適正規模等の検討結果について

委員

- ・ 「市民から山県市民育成にかかる重要な課題」とは、意味がわからない。

事務局

- ・ 山県市民としての子供をどのように育てるかという視点の意見を公聴会で聞いた。
- ・ 公聴会の時の事を考えての表現。

委員

- ・ 山県市民育成を子供達とは、とれない。

委員長

- ・ 児童生徒にした方がよいのではないか。

委員

- ・ 「市民から」を削除した方が良いと思う。

委員長

- ・ 「市民から山県市民育成にかかる重要な課題」を「児童・生徒の育成に関わる重要な課題」に訂正してよろしいか。

委員

- ・ 異議なし。

## 2 山県市立小学校及び中学校の適正な規模等のあり方について

### 委員長

- ・ あっさり書いたために、公聴会でも誤解のある発言もあり、前回補足の必要があると話をした。
- ・ 丁寧に3つに関して中身を書いて総合的に判断して望ましいと書かせて頂いた。
- ・ この点についていかがでしょうか。

### 事務局

- ・ 複式学級の解消「3歳児段階で過少人数を見極め、教育効果を見込み学校の統合を行う」について、来年には複式学級が解消されるが0歳児に問題がある。
- ・ 公聴会では、ハードウェアの部分は1年から2年問題解決にかかる。ソフト面では、非常に時間がかかると言われた。色々な問題があると再認識した。
- ・ 保育園の段階で見極める必要がある。それで3歳児という文面にした。

### 委員長

- ・ 中身的には、中間報告と変わっていないと思うが、どうか。

### 委員

- ・ 「過小規模中学校の問題解消（教育課程の改革や人事措置等で解決を図りつつ、解決できない場合は検討を行う）」については、回りくどく感じる。
- ・ 「過小規模中学校の問題解消に向けて行う」では駄目か。

### 委員長

- ・ 「小学校の統合」と「中学校の統合」の問題は質が違うということを理解して頂きたい。
- ・ 中間報告では小学校と同じような表現にしたために、誤解を招いた。
- ・ 特に伊自良中学校の意見はわかるので、ちゃんと書かないといけない。しかし、問題が無いわけでない。
- ・ 色々な方法で、伊自良中学校を再度検討したい。あまり簡単に考えては駄目だと思う。

### 委員

- ・ 小規模中学校の問題に対して、教育課程の改革と人事措置等でどうするというのか。

### 委員長

- ・ 小・中連携について断定している書き方になっていることについては、修正が必要と考える。
- ・ 具体的には小・中連携ならば教員などのスタッフが相互に兼ねられる。
- ・ 「見通しは持っていますよ」というのは、言葉としてはまずいでしょうか。

### 事務局

- ・ 伊自良中学校を存続させようとする、美山中学校のような規模が必要となる。
- ・ 伊自良南小学校各学年において、教科担任制が必要になる。
- ・ 現在、伊自良北小からも教員の人員措置をしている。
- ・ 具体的に考えていく中で、小・中連携でないと、存続は難しいと考える。

### 委員

- ・ 説明をもらわないと理解出来ないでは困るので、わかりやすいようにしてはどうか。

### 委員長

- ・ 教育課程の改革、人員措置等、小・中連携など、書き方をどうすればよいか。

### 委員

- ・ 教育課程の改革で、本当に解決できるのか。人事措置をやらなければならないように読める。「問題解消を様々な方法で図る」としては。

委員

- ・ 全体的に、もっと簡単にしてはどうか。

委員

- ・ 文章を書くなれば、「教育効果を見込み、早急に学校統合を行う・乾小学校、富波小学校と西武芸小学校」とあるが、文面として書くなれば、もう少し直してはどうか。
- ・ 「早急に下記の小学校の統合を行う」として、下記に学校名を書くべきである。
- ・ 「どこと、どこの小学校の統合を早急に行うとする」とか、するべきではないか。
- ・ 「過小規模中学校の問題解決」についても、どのように読んでいいのか、どんな解決策があるのか、何をもちて解消するのか、わかりやすく書くべきではないか。

委員長

- ・ この場で、このようにしますという内容が出せないが、ここで書こうとしている趣旨は、御理解できるということで、よろしいか。

委員

- ・ はい。

委員

- ・ 「3歳児段階で過小人数を見極めて統合を行う」とあるが、(4)まとめウ)で、「伊自良中学校の過小規模を解決するために」で、「伊自良中学校は平成21年度に単学級になる」として、伊自良北小・南小となっていますが、矛盾が生じないのか。

委員

- ・ 小学校が統合すれば色々な問題が解決するということですね。

委員長

- ・ 山県市立小学校及び中学校の適正な規模等のあり方について、文面訂正してよろしいか。

委員

- ・ 異議なし。

### 3 付記

委員長

- ・ 中間報告より、丁寧に書いたようですが、どうか。

委員

- ・ 「各学校においては、学校の統合を前向きにとらえ、学校の教育課程改革をおこなうとともに」は学校の職員が、統合を前向きにとらえという趣旨にとらえられると思う。

委員長

- ・ 主語がおかしい。
- ・ 「各学校においては、学校の統合を前向きにとらえ、学校の教育課程改革をおこなうとともに」を「学校の統合を前向きにとらえ、教育課程の改革を行うとともに」に訂正してよろしいか。

委員

- ・ 異議なし。

委員長

- ・ 他にないか。

委員

- ・ 「学校統合による通学時間や通学方法の変更には、安全を第一に配慮されたい」について、もう少し、色々な方法があるのではないか。
- ・ 適切な方法でということですか。「通学時間や通学方法については適切に対処されたい」で、良いか。

委員長

- ・ 「学校統合による通学時間や通学方法の変更には、安全を第一に配慮されたい」を「学校統合による通学時間や通学方法については適切に対処されたい」に訂正してよいか。

委員

- ・ 異議なし。

#### (別紙) 結論に至った理由

委員長

- ・ どうでしょうか。

委員

- ・ 「(仮称)伊自良小学校により、伊自良中学校との小中連携を推進する」と断定しているのが気になる。検討事項としては可能性があるが、表現を変えたいと思う。
- ・ 「伊自良小と中学校の連携も可能」と書いてはどうか。

事務局

- ・ 書かないと理解して頂くのは難しい。小中の連携が不可欠ですよということです。でないと、統合が必要ですよとしか言えない。

委員

- ・ 連携と言うことは議論に出たか。

委員長

- ・ 出てないです。伊自良中学校を保つためには、そのような解決策でないと、合併しかないの、方法として書いた。

委員

- ・ そのような、弾力性は認められるのか。

事務局

- ・ 今も、伊自良北小で技術の教師を入れて手は打っている。しかし、1人減るので、その兼務は増やしていかなければならない。

委員

- ・ 今まで、その議論は無かった。急に出てきたので、もう一度協議してはどうか。

委員長

- ・ 小・中連携は初めて出たので。伊自良中学校に対して、どうしていくのだということを頭に入れておかないと。ただ、「問題がありますよ」だけでは答申にならない。何らかの方法を書かないとおかしいということで書かせて頂いた。
- ・ 教育課程の改革とか、人的措置等という言葉で書くことも出来る。先ほど出た言葉を書くならば、良いのでは。

委員

- ・ 伊自良中学校と高富中学校の統合については、議論されました。それが、出てこないことはなぜか。議論を無視されたのか。

委員長

- ・ 伊自良中学校と高富中学校の問題については、小学校と違い、簡単では無い。難しいですよと話しました。ではどうするのかという時に、伊自良中学校を存続するためにはこの様な方法しか無い、ということで、具体的に書く必要がないかということです。

委員

- ・ 高富中学校と伊自良中学校の統合が消えてしまっているが、そのことは書くべきではないか。その中で、この様な方法もあります、ならばわかる。

委員長

- ・ どちらを先に考えるかの違いです。

委員

- ・ 悪いことではないが、かばおうという意図がある。なんとか、この学校を存続させようとする意図が見える。

委員長

- ・ 出来る限りのことはしましようということです。小学校の統合とは違うということから、この様な表現になった。趣旨は変わらないと思うがどうか。

委員

- ・ 委員会として議論されたことを文字に書かれないことはいけないので、併記をして教育委員会として適正に検討頂く。このような内容にしてはどうか。

委員

- ・ 文章は考えて欲しいが、文の最後に高富中学校の合併のことを書いて併記ではどうか。

委員長

- ・ 付記の中で、高富中・伊自良中の統合については書く、但し、存続の案も書く事にしてよろしいか。

委員

- ・ 異議なし。

### (3) 学校運営等の面からの適正規模

委員

- ・ 「児童生徒1人1人を適切に評価していくためには、教員がより客観的な観点を持つ事が大切である。そのためには、学級担任、教科担任をフォローする態勢を整えなければならない。」「中学校で1学年1学級となると教科数に必要な教員数が確保できない。また、定期テスト等の質を深めにくく、評価の客観性を高めにくくなる」これについて、定期テストの質を深めるためには、教科担任がフォローする態勢を整えなければならないとなる。整っていない学校はどうなるのか、もう少し、考え直して欲しい。誤解の無いような書き方にしたい。

委員長

- ・ 内容を検討してよろしいか。

委員

- ・ 異議なし。

### エ) その他の該当校について

委員

- ・ 大桑小学校の児童数の増加について、児童数の増加を無くしてはどうか。

事務局

- ・ 若松学園は幼児・児童・生徒合わせて40名みえます。小学校で多くて30人プラスです。

委員

- ・ 表現を変えることは可能か。前も議論にでたが、わかるように表現した方がよいですね。

委員長

- ・ 内容を検討してよろしいか。

委員

- ・ 異議なし。

委員長

- ・ 基本的なことの中身は変わっていないが、これを元に修正させて頂きませんが、次回、これをみなさんに見て頂いて決めると考えていましたが、文章の訂正だけで済むのならば、最終答申を委員会として決定するという決め方もあり、これで終わるという事もある。または、もう一度集まるということの2つの方法があるが、8月の初旬を考えていましたが、みなさんで決めて頂きたい。

委員

- ・ もう一度、委員会で図って頂きたい。

委員長

- ・ はい。では、もう一度、委員会を行うということによろしいか。

委員

- ・ はい。

委員長

- ・ 8月8日(水)午後2時00分からを開催させて頂きませんが、よろしいか。

委員

- ・ はい。

委員長

- ・ 事務局で修正したものを事前に渡すということによろしいか。

事務局

- ・ はい。

委員長

- ・ 事前に読んで頂いて、審議を進めるようにしたい。よろしくお願いします。

8 閉会

午後3時40分

上記会議録(要旨)は正当であることを署名します。

山県市立小学校及び中学校適正規模等検討委員会

委員長 小井土 由光